

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【公開番号】特開2006-70256(P2006-70256A)

【公開日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【年通号数】公開・登録公報2006-011

【出願番号】特願2005-224240(P2005-224240)

【国際特許分類】

**C 0 9 D 11/00 (2006.01)**

**B 4 1 J 2/175 (2006.01)**

**B 4 1 J 2/01 (2006.01)**

**B 4 1 M 5/00 (2006.01)**

**C 0 9 B 5/14 (2006.01)**

【F I】

C 0 9 D 11/00

B 4 1 J 3/04 1 0 2 Z

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

B 4 1 M 5/00 E

C 0 9 B 5/14

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

この場合、一般ユーザーが空のインクタンクにインクをリフィルするという行為に対する手間や時間の浪費、又、リフィルされたインクそのものに無駄が生じ、更には使用することができないインクがリフィルされたインクタンクを廃棄することによって、資源の無駄や環境汚染がもたらされる。特に、インクがリフィルされたインクタンクを、新品のものと同様に使用可能である、と誤って認識した一般ユーザーが、該インクタンクをインクジェット記録装置に装着して使用した場合、以下のような問題が発生する。即ち、インクタンク内部に存在する析出物により、インクの供給不良が発生している状態で記録ヘッドが動作するため、記録ヘッドの寿命が短くなるという問題や、記録ヘッドの吸引回復を行う際に、インクジェット記録装置に該インクタンクと同時に装着されている他のインクタンクに収納されたインクにおいても、吸引回復が行われるために、インクの消費量が増えるという問題等が相乗的に発生する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 7】

上記で述べた現象が発生すると、析出物が微細経路を閉塞させることにより、インクタンク内部で発生する負圧が増大する場合がある。このような状態でインクを再充填してインクタンクを再使用すると、微細経路にインクが保持される力が大きくなるため、記録ヘッドへのインクを供給する力が不足した状態で記録動作が行われる。その結果、記録ヘッ

ドの寿命が短くなるという問題や、記録ヘッドの吸引回復を行う際に、インクジェット記録装置に該インクタンクと同時に装着されている他のインクタンクに収納されたインクにおいても、吸引回復が行われるために、インクの消費量が増えるという問題が発生する。